

3本の木とともに

清瀬市長

渋谷金太郎

障害を持つ人達が生まれ育ったまちで地域の一員として自立していくために、また、何らかの理由で日中活動事業所に通えなくなっても生活できる場としての、清瀬わかば会 新グループホーム「うらら」の開所式に先日出席しました。

そこでうれしかったのは、40代くらいの知的障害の女性が私に握手を求めてきてくれたのです。会話はできなくても、心は通じ合えるものだ改めて確信しました。

ひまわり畑も心はひとつになっていくのでしょう。『異体同心』です。今回も8日間毎日行きましたが、一番耳にした言葉が『凄い！凄い！』です。12年目で10万本以上のひまわりが最高に咲き誇ってくれました。相田みつをさんの詩『うつくしいものを 美しいと思える あなたのこころがうつくしい』、実にたくさんの人の心が美しくなるひまわり畑となりました。

だから、ひまわりもメッセージを寄こしてくれたのでしょう。写真愛好家のAさんが見つけてくれた顔のような姿です。そして、見る角度を変えると『日本列島』のように見えます。

まさに、気象衛星

『ひまわり』が日本列島を24時間しっかり見守っている象徴的姿勢です。1都16県の気象台と3つの航空気象台を統括する東京管区気象台が、7月から清瀬の気象衛星センターの敷地内に移ってきて、業務を開始した超スーパーパワーがひまわりに乗り移ったに違いありません。

仮に清瀬では、管区気象台と気象衛星センターを総合して「気象予報センター」と表現できるのであれば、結核の薬、外科手術の前の対応の仕方、【たいき えいよう あんせい】の3番目の文字を拾うと【きよせ】が現れるのと同じく、【きしよ ょう よほう センター】の1番目の文字を拾うと【きよせ】の文字が出てきます。

さらに、清瀬に技術研究所がある大林組は、山梨県大月市に木質バイオマス発電事業を展開しています。東京都市長会で先月視察しました。今月初旬アメリカで最大瞬間風速89km/hのハリケーンが発生しました。地球温暖化による気象現象が激しくなるなか、バイオマス発電は温暖化を防ぐ発電です。

清瀬はとても尊い組織、人々がいるまちです。



清瀬市・立科町友好交流都市促進事業

新そば打ちとりんご狩りも！

信州の深秋を堪能！

星空観察とカラマツ林ハイキングツアー

11月初めの澄み切った夜空の下、広々とした牧場で星空観察を行います。この時期ならではの黄金に染まったカラマツ林を眺めながら、八子ヶ峰を歩きましょう。旬の新そば打ちやりんご狩りも体験します。秋が最高に深まった一番いい時期の立科の魅力を、歩いて、見上げて、見下ろして一緒に発見しに行きませんか。市内在住・在勤の方(未就学児は不可)。先着30人 11月3日(日)午前7時30分～4日(月)午後6時ごろ

【宿泊場所】清瀬市立科山荘(長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野1068)

【集合・解散場所】クレアビル前 費用おとな12,600円、小学生8,700円(1泊4食、現金で立科山荘にて支払い) 9月17日午前9時から直接窓口または電話で生涯学習スポーツ課生涯学習係 042-495-7001へ(平日の午後5時まで)



市民講座 清瀬にプラネタリウムがやってくる！

事前学習にいかがですか？

移動プラネタリウムがアミューホールにやってきます。直径5mのエアドームに入って、11月初旬の星空を先取りで観察しませんか？ 市内在住・在勤の方。各回先着30人 10月9日(水)1回目＝午後2時～3時、2回目＝午後4時

～5時(各回同一内容) アミューホール 唐崎健嗣氏 直接窓口または電話で生涯学習スポーツ課生涯学習係 042-495-7001へ(平日の午後5時まで)



清瀬駅北口地下駐輪場からのお知らせ

10月1日(火)より清瀬駅北口地下駐輪場の一時及び定期利用の出入口ゲートが新しくなり、一時利用清算時・定期利用新規申込み及び更新時にPASMO・Suicaなどの交通系ICカードでのお支払いが可能になります。この機会に、さらに便利になる清瀬駅北口地下駐輪場のご利用をお待ちしております。

定期カードの切替えが必要

現在、定期利用中の方は、定期カードの切替え手続きが必要になります。現行の定期カードをPASMO・Suicaなどの交通系ICカード(定期利用者ご本人の名義で、事前に各自でご購入しているもの)へ移行しますので、対象の方は下記の要領でお手続きをお願いします。【受付場所】清瀬駅北口地下駐輪場内管理人室 【移行期間】9月13日(金)～30日(月)

【受付時間】午前9時～午後9時 【持参】現行の定期カード、新しく登録する交通系ICカード(定期利用登録されている方ご本人のもの) 【問い合わせ】清瀬都市開発(株) 042-495-3300(平日午前9時～午後5時) 清瀬駅北口地下駐輪場内管理室 042-492-8819(全日午前9時～午後9時)

※現在、定期利用している方全員が手続きをする必要があります。 ※10月1日より現行定期カード(緑と白色のもの)は使用できなくなります。 ※駐輪場内でICカードの販売は行っていません。鉄道駅などでご購入ください。 ※交通系ICカードでの登録をご希望されない方は、現行のカードを持参のうえ、管理人室にお越しください。新しい定期カードをお渡しします。

10月から介護保険の区分支給限度基準額が変更されます

消費税の引き上げに伴い、10月から介護保険の区分支給限度基準額(以下、基準額)が右表のとおり変更となります。基準額とは、要介護度に応じて介護保険で支給されるサービス費用の上限額のことです。

要介護認定者・事業対象者の被保険者証には改定前の基準額が記載されていますが、介護サービスを利用する際は改定後の基準額が適用されますので、被保険者証は

これまでどおりお使いいただけます。 高齢支援課介護サービス係 042-497-2080

要介護度	9月までの基準額	10月からの基準額
事業対象者	5,003単位	5,032単位
要支援1	5,003単位	5,032単位
要支援2	10,473単位	10,531単位
要介護度1	16,692単位	16,765単位
要介護度2	19,616単位	19,705単位
要介護度3	26,931単位	27,048単位
要介護度4	30,806単位	30,938単位
要介護度5	36,065単位	36,217単位

全4回 スーパーリアル

林亮太の色鉛筆画教室 小中学生向け講座

色鉛筆だけで写真以上のリアルさを表現する超絶技巧を持つ林亮太氏が、その技法を小・中学生向けに分かりやすく教える全4回の絵画教室を開催します。美術の勉強にもなる貴重な機会です。ぜひご参加ください。前半1・2回のテーマは、「私の好きなもの」です。 小・中学生(小学1・2年生は保護者同伴)、先着20人(最小催行人数5人) 第1回＝10月12日(土)、第2回＝10月19日(土)、第3回＝11月2日(土)、11月30日(土)いずれも午後2時～3時 郷土博物館 8,000円(全4回分) 色鉛筆(12色以上)・スケッチブック(B5以上。画用紙でも可)・黒の鉛筆(HB～2B)・消しゴム、あれば鉛筆削りと定規(15cm程度) 9月15日午前9時から電話で郷土博物館 042-493-8585へ。 ※受付が完了した方は、10月3日午後5時までに郷土博物館窓口へ

直接参加費をお支払いください。 ※9月17日(火)・24日(火)・30日(月)は休館日。



林亮太氏



林亮太氏の作品 「台田の切り通し」2018年

清瀬こども俳句

選評＝石田波郷俳句大会実行委員会・谷村鯛夢 ※今回の俳句は「第10回石田波郷俳句大会」ジュニアの部から。学年は大会時。

えんてんをにらみつけてるへやのなか……清明小5年 嶋野潤奈(評)とてもわかりやすい一句。外は燃えるような暑さの「炎天」。炎という字がすごいね。夏に好まれる季語だが、作者は部屋のなかにいる。プールに行きたい。でも宿題が何かで、行けない。その心のなかが中七になった。

フライとる父さんレフト夏の雲……七小5年 出川元気(評)父さんの草野球の試合を見に行ったんだ。レフトを守る父さん、大丈夫かなあ。そこにフライが飛んで・・・無事キャッチ。よかったね。笑う父さんの向こうに大きな夏の雲が浮かぶ。

東京の空をおおいし雲の峰……二中1年 笹生理央(評)世界有数の大都会、東京。そこは私たちのふるさとでありながら、いつも何か大きなものを感じさせるまちでもある。無機質で季節感も薄い。でも今日は超高層ビルの上を覆うような入道雲。大東京ならではの夏。